

住民と議会をつなぐ

すみた 議会だより



No.191

令和7年
11月14日

「トリック・オア・トリート!!!」

●《世田米保育園》関連記事20P



9月議会のあらかし

動き出す 新たな公共交通 ②

決算審査特別委員会

心豊かに暮らすためのチェック ⑥

クマ対策などで論戦 5人が登壇 ⑩

常任委員会 所管事務調査報告 ⑬

岩手県住田町議会



第12回定例会あらまし (9月議会)



△全戸配布された予約式バスマップ。利用には登録が必要です
4地区で運行曜日が異なるため、確認して上手に利用しましょう

第12回定例会（9月議会）は、9月18日から10月1日までの14日間の会期で開催されました。一般質問には5人が登壇し、緊急銃猟制度や町有施設の諸課題、高齢者福祉、猛暑対策などについて議論が交わされました。本会議では、町の条例の一部改正や令和7年度一般会計補正予算などの議案11件を可決。

他に、発委1件、発議1件、3常任委員会調査報告について可決されました。

令和6年度一般会計及び3特別会計の歳入歳出決算並びに2事業会計決算については、決算審査特別委員会を設置し審査しました。（関連記事P4～7）

動き出す 新たな地域公共交通

条例改正

予約式バス導入開始へ

<新路線の運行区分と運賃>

区分	運賃
定時定路線型 コミュニティバス	1人1乗車 200円
デマンド型 コミュニティバス	有住・五葉エリア 1人1乗車 400円
	世田米・大股エリア 1人1乗車 300円

住田町公共交通計画が策定され、公共交通空白地帯の住民の足の確保のために、11月から町内を4地区に分け、事前予約して利用する予約式バス（デマンド交通）が運行される。それに伴いコミュニティバスの運行経路、料金、名称などを変更するための条例改正が行われた。



△学習用コンピュータで授業を受ける児童・生徒

財産取得

児童・生徒用の 学習用コンピュータ端末更新

問 G I G Aスクール構想による学習用コンピュータ端末230台の整備では、国の補助率と年間の維持費はどうか。

答 令和2年に町内小中学校の全児童生徒に一人1台学習用コンピュータ端末を導入。5年経過し、老朽化と学習用教材が刷新されたことから、今回の更新となった。国の補助率は2/3で、維持費は全校で年間1500万円となる。

問 維持費に係る補助はどのようなものか。また、コンピュータ端末には学習用教材の導入も必要と思われるが、今回の購入費に含まれているのか。

答 維持費には国の補助はなく、町の単費となる。購入費には、学習用教材も含まれている。

7年度一般会計 補正予算 地域おこし隊 採用支援

問 今回の採用支援委託料は、地域おこし協力隊一人に係る費用のおよそ半分に相当している。予算措置の必要性はどうか。

答 令和5年にも採用支援を実施しているが、問い合わせはあってもなかなか採用に至っていない経緯がある。地域おこし協力隊

その他の条例改正

- ① 住田町議会議員及び住田町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例
 - ② 住田町税条例の一部を改正する条例
 - ③ 特定公営賃貸住宅等の設置及び管理に関する条例
- 他2条例

の採用に関しては、特別交付税措置もされている事業のため、より強固に募集を勧めたいと考えている。採用に関するネットワークを持つ外部へ委託することで、幅広い呼びかけとマッチングにより、採用に結びつけたいと考えている。

予約式バスに期待の声!! (デマンド交通)

買い物が楽しみに

私の地区はバス停からかなり離れています。買い物や通院は娘を頼っていました。予約のバスが運行されれば、自分1人でも買い物や病院への通院が楽しめるようになります。



ささき ヨシさん
佐々木 ヨシさん
(世田米字大通)

移動課題を解決

計画では、バスの運行地域が広がるので、利用者も増加すると思います。

今後、実証運行する中で課題も出ると考えますが、利用しやすい方向に進めて欲しいです。



みずの かつのり
水野 勝則さん
(上有住字上大畑)

【写真で見る主な6年度事業】



まち家世田米駅
650万円
住民交流拠点施設指定管理料



昭和橋架け替え
8176万円
昭和橋架替事業費負担金



簡易水道施設
2827万円
施設整備事業
(金沢浄水場原水濁度計、下有住簡水加圧ポンプユニットなどの更新)



地域情報基盤整備事業
6625万円
地域情報基盤整備事業
(修繕、回線使用、建物借上、電柱等使用、地域情報通信基盤施設工事、備品購入)



生活改善センター
126万円
生活改善センター改修工事費 (生活改善センター1階トイレ)

将来を見据えて

公共施設・インフラ維持管理を

決算審査特別委員会

委員長 荻原 勝

副委員長 阿部 祐一

令和6年度一般会計決算は、歳入58億526万円、歳出56億6783万円で、歳出は前年比5億2142万円の増額となりました。これは、財政調整基金積立金や準用河川名代沢川改修工事費、大船渡地区消防組合分担金の増などによるものです。一方、滝観洞観光センター受付棟新築工事費などが減となりました。

令和6年度 各会計決算

会計区分		収入	支出	差引額
一般会計		58億526万円	56億6783万円	1億3743万円
特別会計	国民健康保険	6億9023万円	6億940万円	8083万円
	介護保険（保険事業）	10億3676万円	10億424万円	3252万円
	介護保険（介護サービス事業）	343万円	331万円	12万円
	後期高齢者医療	8566万円	8510万円	56万円
合計		76億2134万円	73億6988万円	2億5146万円
簡易水道事業会計	収益的収支	1億6181万円	1億2895万円	3286万円
	資本的収支	4230万円	9319万円	△5089万円
下水道事業会計	収益的収支	1億970万円	9949万円	1021万円
	資本的収支	3791万円	4422万円	△631万円

決算審査意見書

代表監査委員 こんの 紺野 ひとし 仁

1、公共施設の整備及び維持管理

公共施設の維持管理や年次的な更新などを適切に行うため、適宜に財源を確保する必要がある。基金の整備運用を検討していただきたい。

特に、まち家世田米駅における危険な状態の蔵は、協議の上で早期に対応していく必要がある。

2、予算の適正な執行と健全な財政運営

当町の財政状況は、実質公債費比率が6.6%と早期健全化基準の25%を大きく下回り、実質赤字比率、連結実質赤字比率および将来負担比率は生じていない。

令和7年度以降は、総合計画実施に伴う新たな事業の展開、昭和橋の架け替え事業、町道整備、生活改善センター・農林会館などの庁舎周辺における公共施設の方向性の検討。水道・下水道・地域情報通信基盤施設などの各インフラ施設における維持管理や改修など、多額の費用が必要となる。起債償還計画と合わせ、適切な財政計画に沿った財政運営に努められたい。

基金の積立状況（令和7年3月31日現在）

基金名	基金残高
財政調整基金	24億7315万円
教育振興基金	3492万円
減債基金	13億3193万円
地域活性化基金	5065万円
町営住宅整備基金	3447万円
福祉基金	1億9034万円
ふるさと住田水と土保全基金	1028万円
地域情報通信基盤施設整備基金	11億464万円
まちづくり応援基金	1億560万円
ふるさとの森林づくり基金	5734万円
森林環境譲与税基金	1761万円
畜産振興基金	993万円
再生可能エネルギー活用基金	2161万円
国民健康保険財政調整基金	6063万円
介護給付費準備基金	1億1781万円
産業振興基金	1500万円
岩手収入証紙基金	500万円
福祉医療資金貸付基金	200万円
国保高額療養資金貸付基金	300万円
合計	56億4589万円

町民が心豊かに

暮らすためのチエツク！

「住みたい町」をつくる

仕事・学びの場

問 仕事・学びの場
出事業の成果は。

答 イコウエルすみたの利用者数が増加した。地域プロジェクトマネージャーによる営業活動や利用者に対する個別のフォローが功を奏し、リピーターや口コミによる利用者の拡大があった。施設の有効活用や新たな事業展開、関係人口の拡大などで理想的の広がり捉える。

町営住宅

問 町営住宅の維持・修繕は、どのように取り組んだのか。

答 町営住宅の長寿命化改修工事では、フロアリング化を川向団地7棟、川向第一団地2棟、八日町団地1棟、二重サツシ化を川向第一団地1棟、八日町団地1棟で実施。他に外装塗装工事、ドアノブの交換、風呂の器具交換などを行った。

簡易水道

問 簡易水道事業の運営状況は。

答 水質検査の広域化や施設の維持管理業務を長期継続契約で行うことにより、経費の削減を図ってきた。一方で、排水管の老朽化などに伴う漏水の発生による修繕料、耐用年数を過ぎた施設設備の更新費用が増加した。現状の単年度純利益は3000万円ほどである。

在宅医療

問 「在宅医療の在り方研究会」の進捗状況はどうなっているか。

答 研究会は、大船渡病院長、気仙医師会長、慶応義塾大学医学部の講師などをメンバーにして、令和5年7月に設置された。在宅療養支援診療所のサテライトの設置、訪問看護ステーションの配置薬やオンライン診療などについて協議してきた。医療資源が限られた中でも住み慣れた地域で暮らし続けられる環境作りを進めていきたい。



△関係人口・交流人口の拡大が図られたイコウエルすみた・共用棟



△住環境が整備された町営住宅川向第一団地

令和6年度決算 きっちり審査

～町の未来につなげるために～

着実な産業振興

事業承継

問 近年、当町でも事業承継のニーズが高まっている。どのような対策を講じたのか。

答 令和6年度に補正予算措置を行い、商工会会員及び農業者に対しアンケート調査を実施。状況把握と分析を行った。その結果を基に、各事業者への個別アプローチ、専用ポータルサイトへの登録と公開などを行っている。

森林クレジット

問 森林の温室効果ガス削減機能と企業との商取引（クレジット）に、町はどう取り組んだのか。

答 当町の町有林で吸収した二酸化炭素に関して、25000トンのクレジットを創出し、販売に取り組んできた。令和6年度において、クレジットを全量売却。販売額は5400万円ほどの実績となった。

未来へたくす教育

住田中学校

問 令和6年度に開校した住田中学校の統合の成果は。

答 令和6年4月に開校した住田中学校は、生徒数が増加したことで、授業での切磋琢磨が図られ、運動会や文化祭も大変盛り上がりがあった。合唱発表や部活動でも効果が現れている。生徒が新たな人間関係を構築し成長したことは統合の成果と捉える。

地域みらい留学

問 住田高校の地域みらい留学では、どのような実績があったか。

答 令和6年度に初めて、地域みらい留学での新入生2名を受け入れることができた。令和7年度にも、2名が入学した。地域みらい留学の生徒には、従来からある給食費、通学費などの他に、下宿費にも2/3の補助がある。

賛成討論

共生のまち推進

瀧本正徳 議員

令和6年度は、総合計画の最終年度であり、7年度からの新しい総合計画のビジョン、将来の理想的な姿に向かう節目の年度であった。住田中学校のスタート、デジタルシステムの推進、公共交通対策事業、高機能バイオ炭事業、防災行政無線中継局更新などの新規事業を含む諸施策が実施された。

山林が9割のこの町で、かなめとする林業のまちづくりが進められたことや、町民が安心して心豊かに、楽しく暮らせる地域環境を整えつつ、共生のまちづくり施策が計画的に進められたことを評価する。



△森林面積が9割を占める当町その資源活用が問われている



△旧有住中学校校章（シャクナゲ）と旧世田米中学校校章（桑の葉）の両中学校の校章をあしらった住田中学校の校章



△地域みらい留学制度を活用し住田高校での学業などの活動に励んでいる元気な生徒たち

条例改正

物価変動うけ

選挙における立候補の環境を改善するため、選挙費用の公費負担要件が改正された。

第11回臨時会 8月19日

7年度一般会計 補正予算

コロナワクチン 予防接種事業 990万円

施期間は10月1日～1月31日まで。助成金は昨年度と同額を予定。自己負担は4500円～5000円程度を想定。

問

予防接種事業の概要はどうか。

答

新型コロナウイルス感染症に係る予防接種となる。対象は65歳以上の方や60～64歳の心臓や呼吸器などに障害がある身障手帳1級程度の方。実

問

昨年度は、接種費用の半分が国からの助成金で賄われたが。

答

今年度は国からの助成はないが、予算の3割は、普通交付税で算入される。

今回の改正内容

■ 選挙運動用自動車の使用

- ・ 個別契約方式（レンタカー方式）
 - ① 自動車借入契約上限：1日15,800円 → 16,100円
 - ② 燃料供給契約上限：1日7,560円 → 7,700円

■ 選挙運動用ビラの作成

- ・ 作成単価上限：1枚7円50銭 → 8円50銭

■ 選挙運動用ポスターの作成

- ・ ポスター作成の企画費上限額：310,500円 → 316,250円
- ・ 印刷費単価：525円6銭 → 586円88銭

※改正後の作成単価上限（ポスター1枚あたり）

印刷費単価586円88銭×掲示場所数+316,250円÷掲示場所数

後期高齢者
広域連合
議会議員を

選出

かんだ けんいち
神田 謙一

住田町長

任期：令和7年
8月19日から
4年間

請願のゆくえ

採択

学校教育の内容改善を

請願第2号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択に関する請願
請願者の住所 団体・氏名	岩手県大船渡市盛町字東町14-2 岩手県教職員組合南リアス支部 支部長 熊谷 智徳
紹介議員	林崎 幸正 佐々木 信一
付託常任委員会	総務教民常任委員会（委員長 荻原 勝）
委員会審査 の結果	採択と決定 委員からの意見 個々の児童・生徒に対応すべき教育の多様化に対し、教育現場が追いついていない。教師もつい、オーバーワークになる。など
本会議での採決	可決

国への意見書を可決

発委1件・発議1件

発委第1号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書
提出者	総務教民常任委員会 委員長 荻原 勝
提 案 旨	<p>学校現場では不登校の児童・生徒数が、小・中・高等学校を合わせて41万人を超えるという深刻な状況である。小・中学校では、11年連続の増加、高等学校においても過去最多となり、子どもたちの学びや成長の機会が脅かされている。加えて、子どもの貧困やいじめ、虐待、教職員不足の問題など、教育を取り巻く課題は山積している。さらに教職員の長時間労働の実態も依然として改善されず、教材研究や授業準備といった教育の本質に関わる業務に十分な時間を確保できない状況にある。国の教育課程基準に基づいた学校の時数や内容が過多になっており、子どもや教員に過大な負担がかかっている。</p> <p>この状態を抜本的に改善するため、次期学習指導要領の内容の精選を行い、現在の状態を早期に改善することを求めるもの。</p>
採 決	可 決

発議第1号	外国法人等による土地取得を制限するための法整備を求める意見書
提出者	水野 正勝 議員 他4名
提 案 旨	<p>現在、国内において外国の法人または個人による土地の取得が進行し、地方の水源地や森林地帯、農地など、地域住民の生活に密接に関わる土地が、無秩序に買収されている事例が報告されている。</p> <p>令和4年、重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律（以下「重要土地等調査法」という。）が施行されたが、この法律の対象は、重要施設の周辺区域内及び国境離島等の区域内にある土地等に限定されており、対象区域外の住宅地や農地、マンションなどは含まれていないため、今後もこうした不動産が、外国法人等により取得され、我が国の主権が脅かされるおそれもあり、安全保障上の重大な問題に発展しかねないものと捉える。</p> <p>よって、国においては国土保全及び安全保障上の観点から、外国法人等による土地の取得を制限するために外国人土地取得規制法の制定や重要土地等調査法の改正など、管理体制を構築または強化するための法整備を早急に図るよう強く要望するもの。</p>
採 決	可 決

賛否の分かれた議案	金野千津	荻原勝	佐々木初雄	佐々木信一	瀧本正徳	村上薫	阿部祐一	林崎幸正	菊池孝	高橋靖	水野正勝	佐々木春一	議決結果
認定第1号 令和6年度住田町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	—	認定
発議第1号 外国法人等による土地取得を制限するための法整備を求める意見書	×	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	—	可決

9月議会

登壇！ 一般質問

町の考えを問う

クマ等の鳥獣被害対策や 高齢者福祉などを論戦

ページ	質問者 (登壇順)	質問項目
11	おぎわら 荻原 まさる 勝	①高齢者福祉の向上 ②日本遺産「みちのくGOLD浪漫」
12	むらかみ 村上 かおる 薫	①鳥獣被害対策 ②町有施設の諸課題
13	あべ 阿部 ゆういち 祐一	①クマの被害対策 ②遊林ランドと(旧)道の駅種山ヶ原の活用策
14	たきもと 瀧本 まさのり 正徳	①森林経営管理制度にかかる施策の進捗状況 ②ツキノワグマなどの獣害対策 ③猛暑対策として学校体育館や自治公民館へのエアコン設置
15	きんの 金野 ちづ 千津	①高齢者の健康と生活環境の向上 ②猫の多頭飼育および野良猫問題への対応

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に対し、施策の状況や将来の方針など、所信や疑問点をたずねることができる重要な議員活動の場です。1回目の質問事項は、事前に執行機関へ通告されており、全項目を一括して質問。2回目以降の再質問は、1問1答方式で行っています。持ち時間は、答弁を含めて一人あたり60分です。ここからは、主な質問と答弁を要約した内容を登壇順にお知らせしていきます。

全文記録（議事録）は、役場庁舎2階の総務課と町のホームページ上で閲覧できます。
(QRコードで議会ホームページへ直接進むことができます)

▼QRコード



問 介護の質をどう高める

答 専門人材の確保を進める

問 町内の高齢者は、

病気や怪我などで町外入院となることが多い。

退院の際には、転院や

介護施設への入所を選

択するケースが一定数

存在している。町は、

そのような高齢者やそ

の家族に対しどのよう

な相談・支援体制をと

っているのか。

答 町長

本町で介護保険サー

ビスを初めて利用され

る場合、地域包括支援

センターが窓口となる。

利用できるサービス、

申請方法などに関する

相談・支援体制を整え

ている。施設入所では、

介護保険サービス利用

者は担当の介護支援専

門員が、未利用者は地

域包括支援センターが

中心となり相談に応じ

ている。転院では、入

院先の病院の担当者が

相談に応じている。

問 町内の高齢者介護

において、サービスの

質をどう高めていく考

えか。

答 町長

総合計画の在宅医療

介護プロジェクトによ

り、地域包括ケアシス

テムの深化と受療機会

の確保を進める。人づ

くりプロジェクトによ

り、医療・福祉・介護

の専門人材の確保にも

取り組んでいく。



おぎわら 荻原 まさる 勝 議員

当町の介護分野でも、地域おこし協力隊の制度を活用して、体制を強化してはどうか。

議員のつぶやき

町の考えを問う

問 日本遺産登録へ展望は

答 経典発見を契機に調査

問 日本遺産「みちの

くGOLD浪漫」追加

登録へ向けた町の取り

組みや展望は。

答 教育長

当町では、産金に係

る様々な遺産が存在し、

これまでも調査や保存

活用を図ってきた。

今年初め、当町の個人

宅より藤原秀衡公が中

尊寺に奉納した経典の

一巻である可能性が高

いとされる「紺紙金字

一切経」が発見された。

これを契機と捉え、日

本遺産に関する調査

・研究を進めている。

問 金山跡、民俗資料

館の産金展示、「紺紙

金字一切経」などの文

化財をどのように整備

・保存していく考えか。

答 教育長

日本遺産への登録は

考慮しつつ、全ての文

化財の保存場所を整備

するのではなく、個々

の文化財の重要性など

も考慮し、保存を図っ

ていきたい。「紺紙金

字一切経」は、博物館

法で都道府県教育委員

会の登録を受けている

「登録博物館」に管理

を委託したい。



△4月には町民ホールで「紺紙金字一切経」の特別展示が行われた

問 いつ提示 庁舎周辺施設整備計画

答 しかるべき時期に方針示す

問 総合計画に合わせ令和7年度新たな開発計画や過疎地域持続的発展計画が作成される。早期に全体像が示されることを期待する。

答 町長 昨年度、次期総合計画策定で検討。公共施設総合管理計画において公共施設全体の中で個々の施設方針を定めることとした。しかるべき時期に整備方針を明示したい。

問 まち家土蔵は、崩落の危険性が観光客からも指摘されている。どの様な対応を図っていく考えか。

答 企画財政課長 関係機関との協議を踏まえ検討していく。



△クマ撃退スプレー…クマ、イノシシ等に効果があるとされ、教育施設や各地区公民館にも配備が望まれる

答 林政課長 県内他自治体の助成例もある。意向やニーズを確認し、検討していく。

問 県内でもクマの被害が多発している中、町内でも人身事故が発生し他人事ではなくなっている。自分の身は自分で守る観点から、クマ撃退スプレーの活用も有効と捉える。購入に補助を検討すべきではないか。



むらかみ 村上 かある 薫 議員

悩み多き町有施設。問題の先送りができない所が痛い点だ。

議員のつぶやき

町の考えを問う

答 町長 令和3年度、耐震診断実施委託を公募するも業者選定に至っていない。引き続き情報収集に努めている。

問 有害捕獲3月追加を

答 早期実施へ協議

問 危険な建物で国の有形文化財指定を受けている場合、解体事例はあるのか。

問 ニホンジカなどの有害捕獲期間が4〜10月、指定管理捕獲期間が11月〜2月となっている。他市のように3月を追加できないか。

る前で捕獲効果が高い時期と捉えている。鳥獣被害対策実施隊や高田猟友会と早期実施に向け協議をしていく。

答 教育次長 文化財保護法に基づく適切な手続きを経れば解体、抹消が認められる場合もある。

答 町長 3月は、ニホンジカの出産前、草や木が茂

問 県内でもクマの被害が多発している中、町内でも人身事故が発生し他人事ではなくなっている。自分の身は自分で守る観点から、クマ撃退スプレーの活用も有効と捉える。購入に補助を検討すべきではないか。

問 緊急銃猟への対応は

答 年内に体制を整備

問 本年9月からクマ

の駆除に関する新制度がスタートした。現制度では、住宅密集地での銃の使用は原則禁止されていたが、改正鳥獣保護法の施行により銃の使用が可能となる。町の対応はどのように変わるのか。

答 町長

市街地などの人の生活圏に、クマやイノシシが出没した際、一定

の条件を満たせば市町村の判断により可能となる「緊急銃猟制度」が創設された。本町でも「緊急銃猟に係る対応マニュアル」を策定した。

必要な人員の確保、関係機関への協力要請、住民に対する制度の周知、備品の確保、保険への加入などを順次進め、年内を目的に体制を整える。

問 万が一事故が起きた場合の対応やハンターがけをした場合への対応はどうか。

答 町長

責任の所在は実施者たる町にあり、損失に係る訴訟、賠償は公務災害として取り扱う。

銃猟の使用者として「町鳥獣被害対策実施隊」を想定している。



あべ ゆういち 議員
阿部 祐一

(旧)道の駅は建設から34年もたっている。景観上からも解体を考えていいのではないか。

議員のつぶやき

町の考えを問う

問 どう活用 種山の施設

答 観光計画で具現化

問 遊林ランドは、種山ヶ原の活用と栗木鉄

山を含めた拠点として整備する必要がある。今年度策定する観光計画にどう位置づけるのか。

答 町長

種山ヶ原は、宮沢賢治ゆかりの「イーハト

ーヴ風景地」として国の名勝に指定されている。栗木鉄山跡地も国史跡の指定を受け、歴史的価値を持った貴重な資源と捉えている。

総合計画の中では、観光・物産振興の主要施策として、「観光資源の整備・活用」「体



△建設から30年以上経過した(旧)道の駅

験型観光コンテンツの創出」を掲げており、具現化するために観光計画策定を進めている。

問 (旧)道の駅種山ヶ原は、建物も老朽化し景観上の課題もある。今後どう管理するのか。

答 町長

道の駅の機能が「ぼらん」に移行し、今は倉庫として使用している。

建設から34年が経過しているが、道の駅としての機能や利便性の向上、景観の整備など総合的な視点を持って考えていきたい。

問 森林経営管理制度の進捗は

答 資源量や意向調査を実施

問 所有者の森林管理の責務を明確化した、森林経営管理制度が施行され6年が経過した。高齢化や担い手不足などの現状の中、町内の豊かな森林資源を活かすこの施策の進捗状況は。

答 町長 森林経営管理制度の創設を受け、森林資源解析事業や森林所有者意向調査を実施。資源量や所有者の森林経営への意向の把握に努め、今後の方向性を検討してきた。検討内容は「自身の森林は所有者自らが管理すること」を原則にしつつ、調査



たきもとまさのり 議員
瀧本 正徳

町の考えを問う

クマの出没が住民不安の一つです。安心して散歩や野良仕事を楽しめる町づくりが原点です。

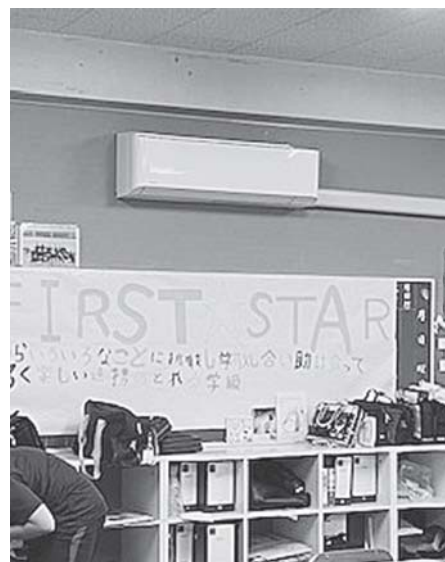
議員のつぶやき

用語解説

※森林経営管理制度とは

手入れが行き届いていない森林を、市町村が森林所有者から経営管理の委託を受ける制度。経営に適した森林は地域の林業経営者に再委託し、経営に適さない森林は、市町村が公的に管理する仕組み。平成31年4月に創設された。

した森林情報や整備にかかる補助事業のメニューを提供し、管理方針の策定について相談対応する。



△設置済みのエアコン（住田中学校教室）

問 公民館にエアコンを

答 助成制度を検討

問 自治公民館は、地域活動拠点、自主防災活動拠点、住民の避難場所などと役割が大きい。猛暑対策のエアコン設置助成制度を設けるべきでないか。

答 教育長 現行の自治公民館等運営費補助金交付要綱は、近年のような猛暑を想定していない。要

網改正により助成を検討したい。

問 学校体育館へエアコン設置を進めるべきと考えるがどうか。

答 教育長 学習及び部活動、災害時には避難場所となる。整備管理を防災担当課などと検討する。

獣害対応 窓口一本化は

問 各地でクマの人的・物的被害が起きている。クマ出没などの生活不安を解消し「安心・安全なまちづくり」を進めるため、獣害対策の専門家を配置し、対応窓口を一本化で、即応体制を図るべき。

答 町長 町の鳥獣被害対策は、鳥獣害防止総合対策協議会と鳥獣被害対策実施隊の、2つの組織を中心に取り組みを進めている。事務局は農政商工課と林政課で、被害状況や課題を共有し対応している。連携が図られ、効果がみられることから、推進体制を継続する。

問 どう守る 猛暑時の高齢者

答 個人宅のエアコン支援検討

問 熱中症警戒アラート発令時の高齢者への注意喚起手段はどうか。

答 町長

防災行政無線での周知を実施しているが、熱中症特別警戒アラートが発信された場合は住田テレビでの告知も実施。高齢者に対しては地域ミニディスプレイですで随時注意喚起している。今後も行動変容に繋がる広報について見直しを行っていく。

問 エアコンのない世帯の見守り実施はどうなっているか、設置補助実施の考えは。

答 町長

猛暑下に限らず一人暮らし高齢者の見守りは、行政、社協、民生委員をはじめとした隣近所の支え合いなどによって実施。低所得者や高齢者へのエアコン購入支援は、財政負担との兼ね合いを含めて検討していく。

問 猛暑時に涼をとれる場所の確保と、高齢者への情報提供の方法は。

答 町長

現在はまち家世田田駅がクールシェアスポットとして登録されているが、随時更新していく。熱中症特別警戒アラートが発信された場合は、農林会館、下土地区公民館を開放する。広報すみに掲載し情報発信している。



議員 ちづ 金野

沿岸市町村で補聴器の補助を行っていないのは当町だけとは…。

議員のつぶやき

用語解説

※熱中症警戒アラートとは
岩手県内の観測地点のいずれかで、熱中症の危険度が高まった際に注意を促す情報のこと。

補聴器 購入補助を

問 認知症予防の観点からも、補聴器の使用を推奨。経済的理由から購入をためらう高齢者も少なくないことから、補聴器購入への支援が必要では。

答 町長

県内の自治体では独自に助成制度を設けているところもある。補聴器のみを特化して助成することへの是非もあるため、実施は総合的に判断していく。

問 猫の適正管理は

答 広報と保健所連携で

問 猫の多頭飼育、野良猫の繁殖、捨て猫の問題をどのように現状認識し、施策を講じていく考えか。

答 町長

動物の管理については、飼い主の責務として、健康と安全を確保すること、みだりに繁殖することを防止するために避妊手術等を行うことなどが「動物の愛護及び管理に関する法律」や「条例」で規定されている。広報での啓発や、不適切な飼育がある場合は保健所へ情報提供していく。



△ペットとの暮らしは心を豊かにしてくれる一方で、命を預かる責任も自覚しなければ

町の考えを問う

所管事務調査報告～町の課題をしっかりとチェック～

産業経済常任委員会

調査事項 地域の特産品開発

人口減少が進む中で地域産業が減退している。町内に存在する貴重な地域資源を有効に活用した商品開発を推進し、リピーターの確保につながる付加価値の創出や新たな観光資源の形成を図ることが

調査目的

付加価値つけ産業創出

重要である。そのような取組みにより、町民の所得向上と人口減少対策に役立てる必要があることから、次の点を調査した。

調査・研究内容

- ①シカ肉加工のMOM I J I(株)、どぶろく製造の宮守川上流生

産組合を視察。

②ジビエ加工やどぶろく製造に興味のある方や猟友会と意見交換し、課題や方向性を調査。

調査結果と意見

①当町では駆除されたシカの多くは埋設処分されている。有益な資源を生かすために、猟友会や加工事業者などが合意形成し、ジビエの加工に

②「どぶろく」製造では、酒税法や免許の取得などハードルが高いが、町産米を活用したにがり酒や甘酒の製造・販売などの可能性を検討する必要がある。

③食料品を中心に新商品が開発されている。特産品開発への支援の強化を図ることが必要である。

総務教民常任委員会

調査事項 高齢者の移動手段

人口減少と高齢化が進む中、開業医や食品スーパーの閉店が相次いでいる。当町の高齢者の多くは、車の運転や同乗で買い物や通院をしている。公共交通の空白地域での高齢者に暮らしやすい移動手段の確保への支援策が求

調査目的

地域住民との連携を

められる。

調査・研究内容

- ①陸前高田市らいじん号による地域住民型の運行状況を調査。
- ②大船渡市のデマンド交通導入経過を調査。
- ③大股地区支え合い交通の現状を調査。
- ④世田米地区で、交通空白区における高齢

者の移動手段を意見交換。

①11月からのデマンド交通実証試験では、路線バスと持続可能な予約バスとの連携を図り、高齢な地域住民の利便性にも充分配慮する必要がある。

②新たに始まる予約型バスを「もっと詳しく知りたい」「地区で共有したい」との

調査結果と意見

声があり、運行内容の周知が必要である。

③新たな公共交通が認知され、長く定着するために運行車両の愛称を募り、町民と共有されることを望む。

④利用料金は、利用者の意見をよく聞き適正な料金を定めること。

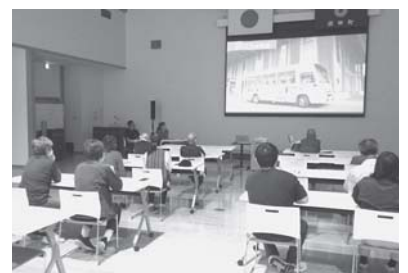
⑤利用登録や予約などのスマホ操作の研修をサポートすること。

委員長 佐々木信一
副委員長 高橋 靖
委員 水野 正勝
林池 孝
村上 幸正



委員 佐々木信一
副委員長 高橋 靖
委員 水野 正勝
林池 孝
村上 幸正

委員長 荻原 勝
副委員長 阿部 祐一
委員 瀧本 正徳
佐々木初雄
金野 千津
佐々木春一



オブザーバー 佐々木春一

新たな意気込みで

人口減少社会に向き合う

議会人事構成決まる

議員任期折り返し
各常任委員会等新構成

住田町議会議員の任期も残すところあと2年間。

10月1日に開かれた第12回定例議会において、3つの常任委員会などが新しい人事でスタートすることになりました。



総務教民常任委員会

委員長	阿部	祐一
副委員長	佐々木	信一
委員	水野	正勝
	林崎	正勝
	荻原	勝津
	金野	千



産業経済常任委員会

委員長	村上	薫
副委員長	佐々木	初雄
委員	高橋	靖
	菊池	孝徳
	瀧本	正徳
オブザーバー	佐々木	春一



広報編集常任委員会

委員長	荻原	勝津
副委員長	金野	千津
委員	水野	正勝
	高橋	靖
	阿部	祐一
	佐々木	信一



議会運営委員会

委員長	瀧本	正徳
副委員長	村上	初雄
委員	水野	正勝
	高橋	靖
	阿部	祐一

議 会 レポ-ト

ここでは、議員活動の中から、沿岸広域振興局大船渡土木センター住田整備事務所のご協力のもと実施した、(仮称)新昭和橋改修工事の現地視察研修と、2市1町で構成される気仙地区議会議員協議会総会及び研修会についてご報告します。



△自然との調和を意識した護岸の作りと、安全性を配慮した構造について説明を受けた。橋の完成が待たれます

(仮称)新昭和橋 改修工事視察研修

令和7年7月24日

令和7年7月24日に大船渡土木センター住田整備事務所との意見交換を兼ねて(仮称)新昭和橋改修工事の現地視察を実施。改修工事は、橋周辺の護岸工事の一部が完成。蔵並と調和した自然石の美しい石積に仕上げられている。

蔵並と調和 安全性に配慮

議会レポート

工事は治水安全度、1/30(30年に1度の確率で発生する雨量対応した河道の整備)として進められ、安全性も兼ね備えた造りとなっている。(仮称)新昭和橋の車道は4メートルではあるが、車道両脇に北側2メートル、南側1メートルの歩道が設置されるため、以前よりは車のすれ違いも余裕をもって行え、歩行者の安全性も確保される。

完成までの流れ

令和7年度は、橋桁の制作を進めており、11月中旬に架設工事に着手する予定。

令和8年7月上旬に橋梁上部工事が完成。町道の取り付け道路工事を経て、供用開始は、令和9年3月を目指す。

気仙地区議会議員協議会 総会・研修会・交流会

令和7年8月18日
住田町民ホール

対県要望を決議

気仙地区議会
議員協議会総会

令和7年8月18日に開催された気仙地区議会議員協議会総会では、令和6年度事業報告・決算、令和7年度事業計画・予算を承認。審議事項として対県要望10項目を決議した。

主な要望事項

- ① 林野火災に係る被害対策及び被災者等支援施策の推進
- ② 消費者と稲作農家が



◆テーマ
「マイナ保険証と未来かなえネットの連携」
マイナ救急(マイナンバーカードを活用した救急業務)に先んじて運営されている未来かなえネットの医療連携と活用のメリット、今後全国展開されるマイナ救急との比較などについて学んだ。

研修会

- 共生できる施策の充実及び支援
- ③ 国道107号他主要幹線道路の整備促進
- ④ 鳥獣被害対策の強化など

すみた想い人 19



町民の皆さんに登場していただく企画になります。町や議会に対しての意見、活動を通して「町への想い」を紹介していきます。

今回は、今年9月から、パン職人に転職し、イーガストなどでのパンを販売している「パン工房アンジュー」の大山一樹さんに仕事や住田への想いを聞きました。

町産食材でパン開発を



Q 住田町に帰ることを決めたのはなぜですか。

A もともと住田に戻ろうという気持ちがありました。父の立ち上げたパン工房が忙しくなってきたことを聞いて決断しました。

Q 仕事への想いと将来への希望は何ですか。

A 今はひたすらパン作りを覚えるように頑張っています。食料関係の資格を取ること

とも目標ですが、住田産の食材を使ったパンの開発が将来の大きな夢です。今は様々なアイデアを貯めているところです。

Q 今後の取り組みについてお聞かせください。

A パン作りの技術向上はもちろんなのと、イーガストの定例会など、町内事業に関

わらせていただく事が増えたので、今まで離れていた分、住田の力になれるように頑張っています。

Q 住田に戻って思うことは何ですか。

A 滝観洞や種山ヶ原といった観光はもちろんな、まち家世田米駅の景観を生かした交流の場づくりも魅力です。生産者さんとの距

離が近く、交流で生まれる温かさや安心感住田ならではの感じています。

Q 町や議会に期待することは何ですか。

A 観光物産品には住田の魅力を色濃く感じています。そういった魅力の外部発信を引き続きお願いします。

議会を傍聴しよう!

町議会は誰でも傍聴できます。次の12月議会の予定は下表のとおり。生活改善センター議会棟の入口から案内に従って傍聴席へお入りください。

令和7年9月議会の傍聴者は19人でした



12月議会は

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
		一般質問			議案審議	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

住田テレビ放映もどうぞ



本会議や一般質問の様子は、住田テレビの「議会放送」でもご覧いただけます。放映時間は午後6時からです。

パート 23
わたしの未来

住田町の子どもたちが
将来の夢を語る
コーナーです。
自薦・他薦も大歓迎。申し
込みをお待ちしています。

未来は図書館司書

私は、小さい頃から本が大好きで、よく図書館に行きました。その図書館にいた司書の人にあこがれて、司書を目指すようになりました。将来は、**図書館の司書**になって、沢山の人に本の良さなどを知ってもらえるように頑張りたいです。



世田米小学校6年
さとう きい
佐藤 稀衣
(世田米字小口洞)

人の役にたきたい

ぼくの将来の夢は、自衛隊員になることです。わけは、大船渡の森林火災の時に、自衛隊の人たちが多くの人々を助けていたのを見て、自分も**困っている人のために役立ちたい**と思ったからです。今は、夢を叶えるために、体力づくりに励んでいます。



有住小学校6年
みずの ようた
水野 耀太
(下有住字中上)

編集後記

委員長 荻原 勝

▼10月に入り、住民懇談会と、町コミュニティバス再編および予約式バス（デマンド交通）に係る説明会が、町内5地区で開催されました。参加してみて、住民自治の実践を感じました。▼議会では、10月1日に各常任委員会の再編があり、私が広報編集常任委員会の委員長に選出されました。議会だよりも、住民自治に役立ち親しまれるよう、委員全員で頑張ります。

広報編集常任委員会

発行責任者

- | | |
|------|---------|
| 議長 | 佐々木 春 一 |
| 委員長 | 荻原 勝 |
| 副委員長 | 金野 千 津 |
| 委員 | 水野 正 勝 |
| | 高橋 靖 |
| | 阿部 祐 一 |
| | 佐々木 信 一 |



表紙の写真



世田米保育園

世田米保育園のハロウィンイベントのひとコマです。

「トリック・オア・トリート」の可愛い掛け声が、園内に響き渡ります。父兄の皆さんからたくさんのお菓子をもらい、子どもたちの笑顔が溢れました。